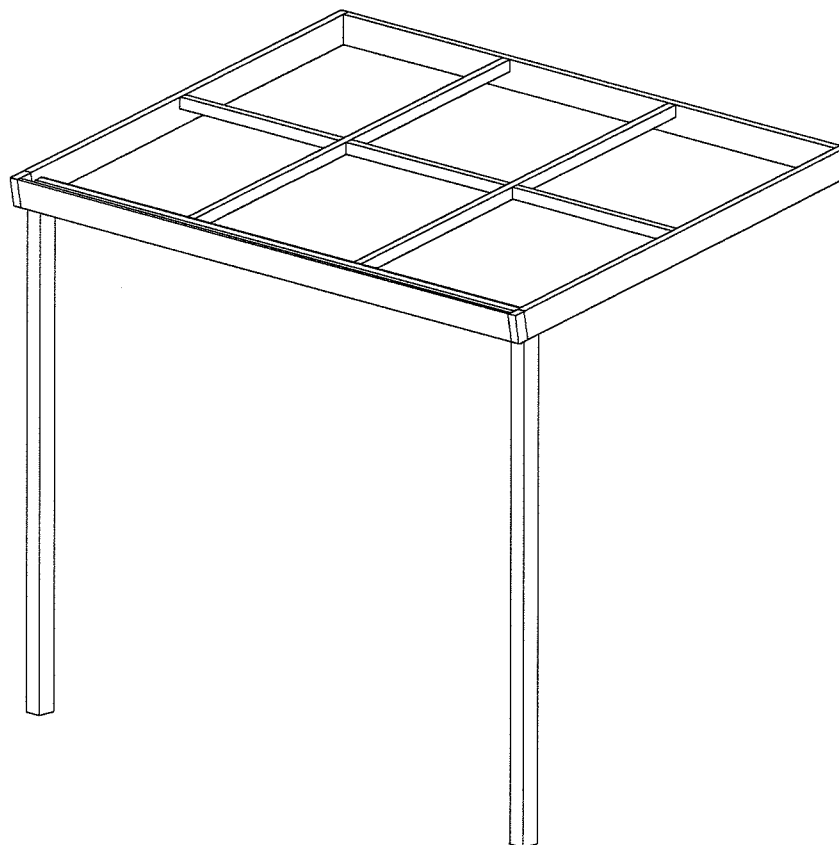


木樹脂テラス (フォルテラス) A型用 組立施工マニュアル





目次

● 施工上のご注意 P	2
● 規格表・規格寸法図 P	3
組立手順		
① 柱カバー・柱キャップの取付け P	4
② 前枠カバー用アタッチメントの取付け P	5
③ 側枠カバー用アタッチメントの取付け P	5
④ 前枠カバーの取付け P	6
⑤ 側枠カバーの取付け P	6
⑥ 出幅9尺用補強桁カバーの取付け P	7
⑦ 前枠両端部塞ぎ材の取付け・塞ぎ板へのシール貼り	P	7
⑧ 雨樋の取付け P	7
⑨ 前枠カバーと補強桁カバーの連結(テラス連棟) P	8
⑩ 施工工事店様、販売店様へのお願い P	8

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為このマニュアルをお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。		「必ず行なっていただくこと」を示しています。

注意

- カバー端部等でケガをしないように、軍手、安全靴を使用してください。
- テラスにあらかじめ貼付されている注意、取扱説明ラベル等をはがさないでください。
- 注意ラベルの指示に従って、必ず雪おろしをしてください。
- 樹脂カバー部分に乗ったり、揺すったりしないでください。

使用上のご注意について

- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は、使用しないでください。
- 木樹脂テラスの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近付けたりしないでください。
- 表面が汚れた時は水洗いしてください。洗剤を使用する際は中性洗剤を水でうすめて使用し、よく水で洗い流して拭きとってください。

施工上のご注意

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

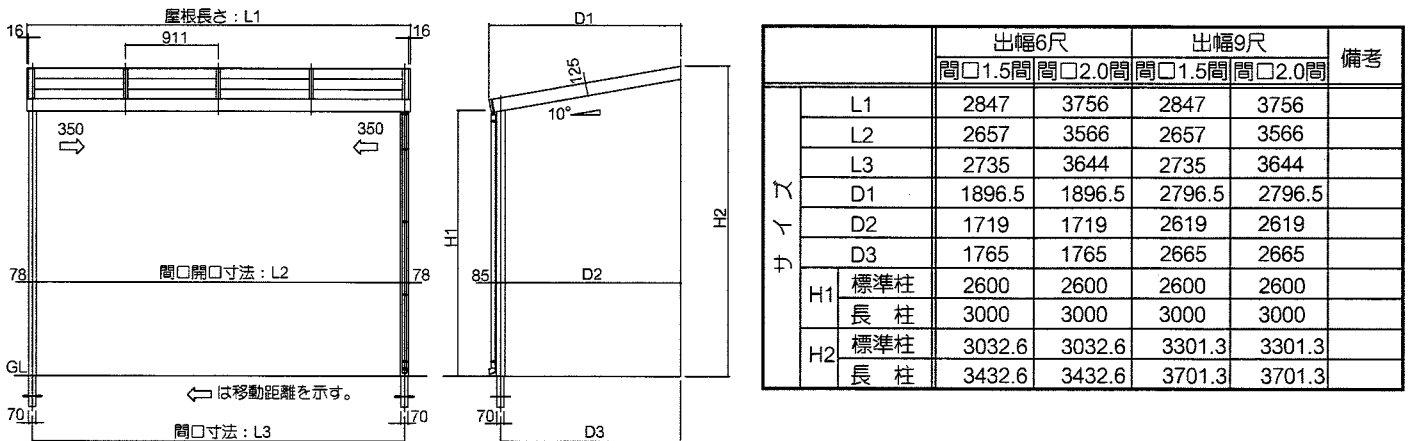
- (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- (2) モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品の表面に流れないように注意してください。
- (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- (4) 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- (5) アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- (7) 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- (8) 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。
- (9) 基礎施工の際は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
- (10) 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。

* 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

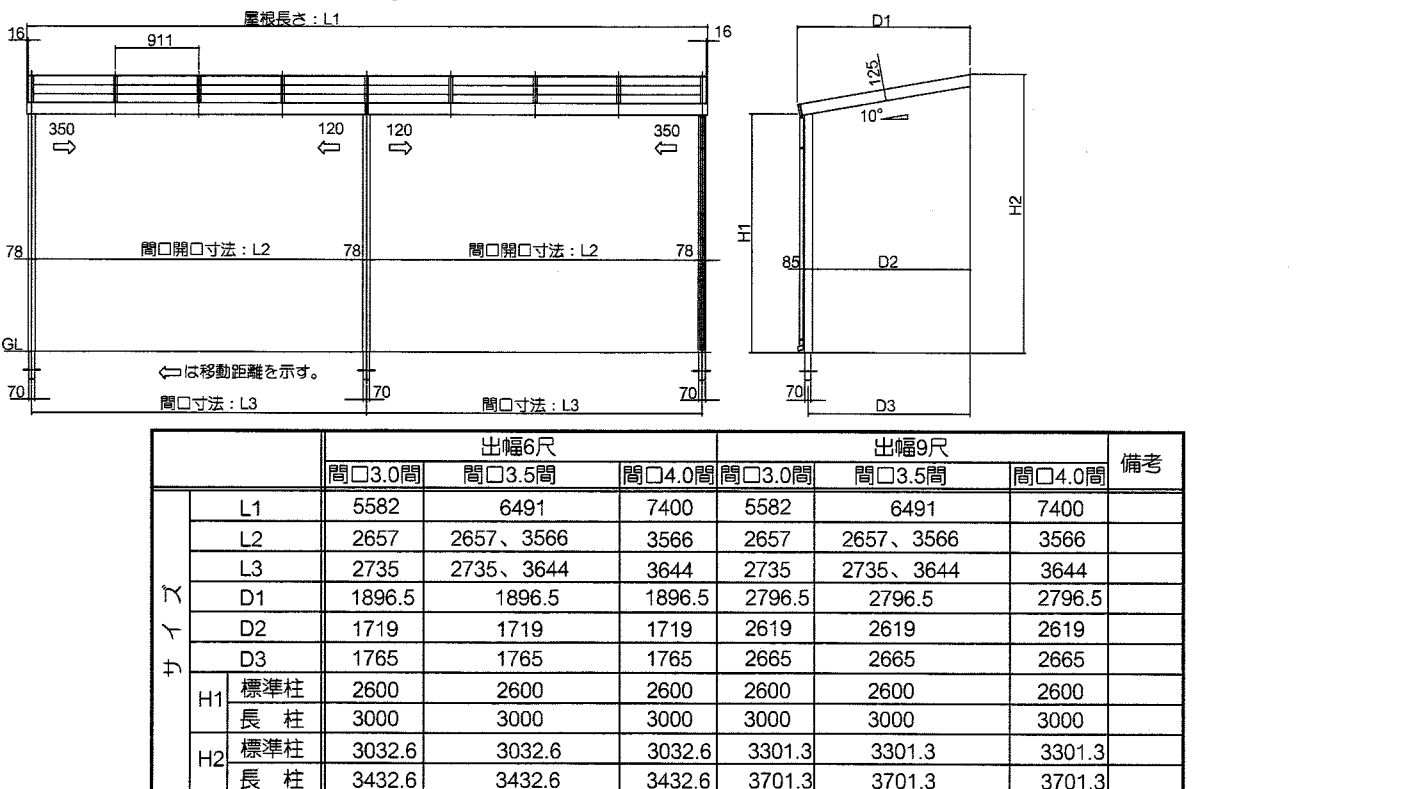
規格表・規格寸法図

製品名称		梱包内容
前・側枠カバー	1.5間 6尺用	前枠カバー-L=2847:①、側枠カバー-L=1907 :RL各①、セット部品:①
	1.5間 9尺用	前枠カバー-L=2847:①、側枠カバー-L=2821 :RL各①、セット部品:①
	2.0間 6尺用	前枠カバー-L=3756:①、側枠カバー-L=1907 :RL各①、セット部品:①
	2.0間 9尺用	前枠カバー-L=3756:①、側枠カバー-L=2821 :RL各①、セット部品:①
連棟用前枠カバー	1.5間用	前枠カバー-L=2847:①、セット部品:①
	2.0間用	前枠カバー-L=3756:①、セット部品:①
柱カバー	標準柱	柱カバー-L=2597:②、柱キャップL=2597:②、接着剤:①
	標準間柱	柱カバー-L=2597:①、柱キャップL=2597:①、接着剤:①
	長柱	柱カバー-L=2997:②、柱キャップL=2997:②、接着剤:①
	長間柱	柱カバー-L=2997:①、柱キャップL=2997:①、接着剤:①
補強桁カバー	1.5間用	補強桁カバー-L=2810:①、下地材L=2665:①、セット部品:①
	2.0間用	補強桁カバー-L=3719:①、下地材L=3574:①、セット部品:①

■ 木樹脂テラス単体 姿図



■ 木樹脂テラス連棟 姿図

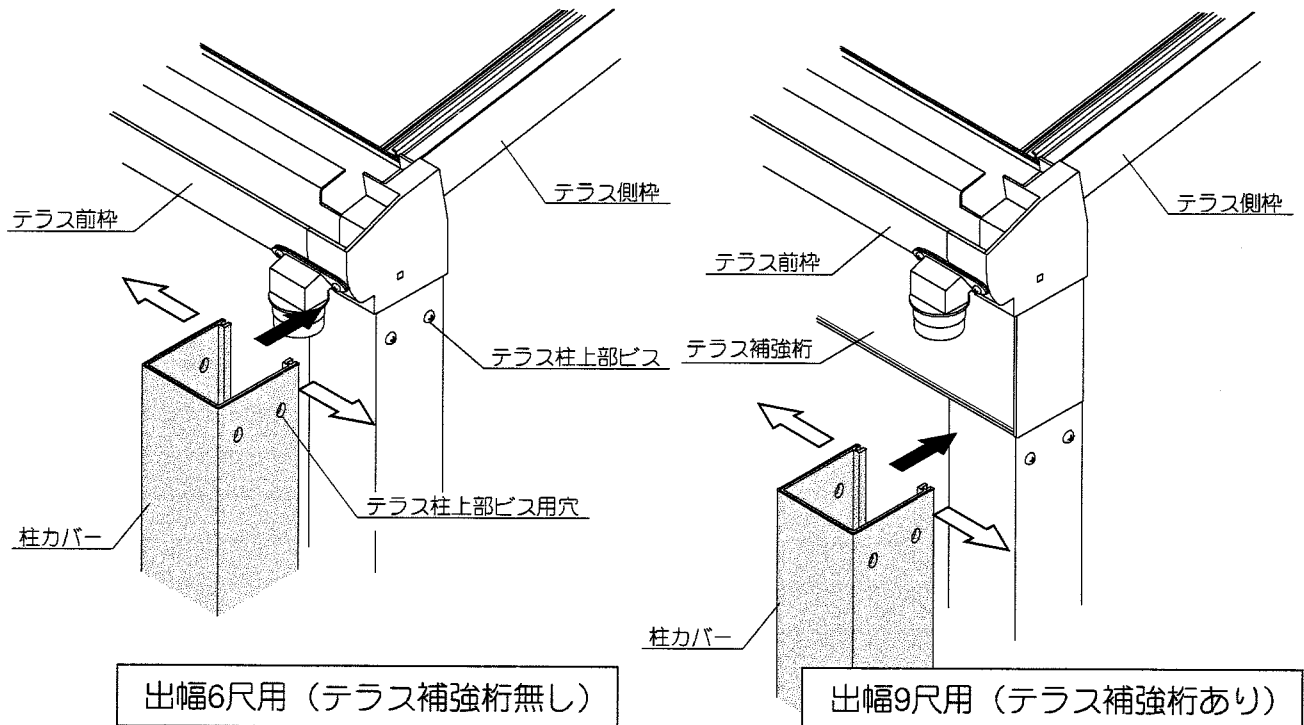


※テラスの組立は、フォルテラスA型組立施工マニュアルをご覧ください。

組立手順

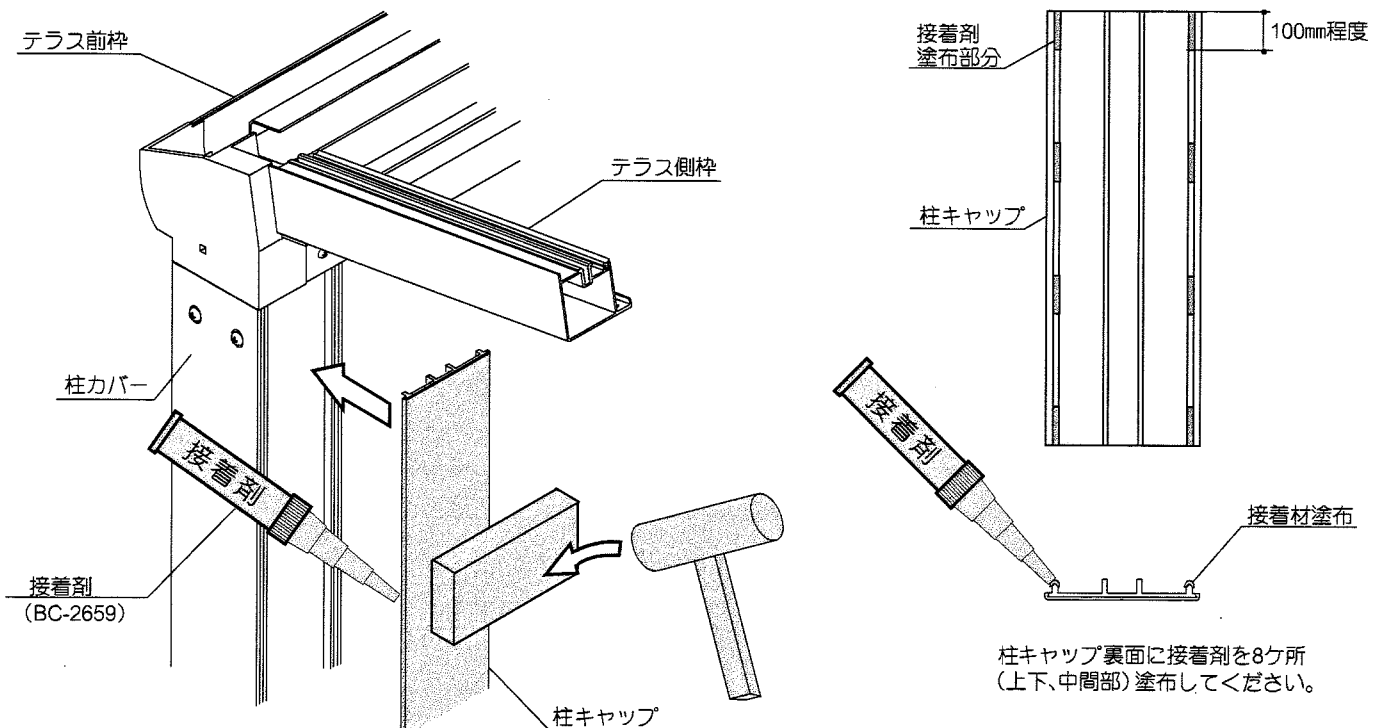
1. 柱カバー・柱キャップの取付け

- 1) 雨樋は、ブラケットごと取外しておいてください。(雨樋の落とし口は外さないでください)
柱カバーを手で押し広げながら、柱に取付けます。
テラス柱上部にあるビス頭と、柱カバーの孔を合わせてください。
柱カバーが少し長いようであれば、GLラインで切断してください。



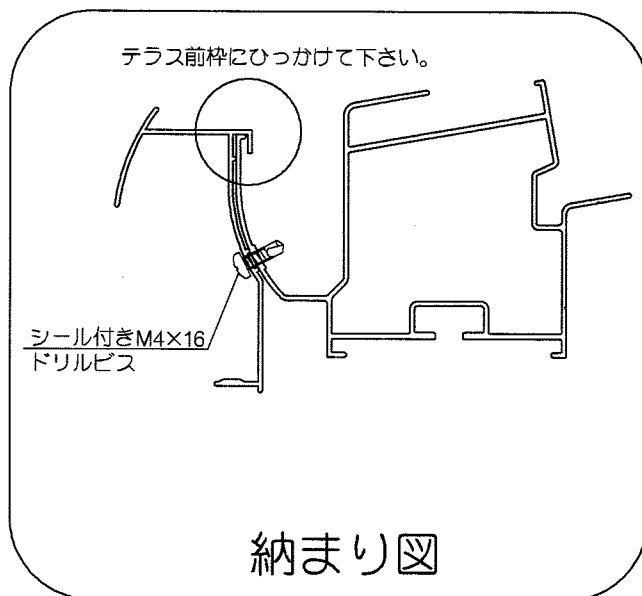
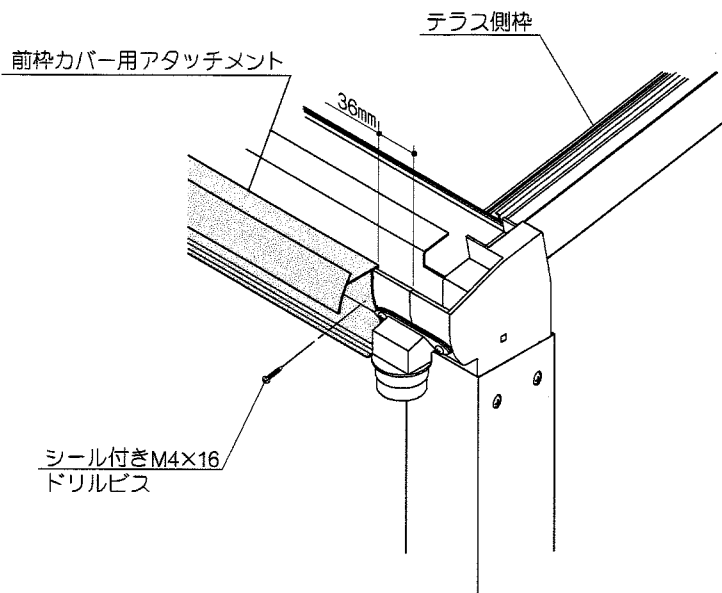
- 2) 柱キャップを、柱カバーにはめ込みます。柱キャップの上下及び中間部分に付属の接着剤 (BC-2659) を塗布し、木またはプラスチックハンマーで軽くたたいて入れてください。

注) 強くたたきすぎると、柱カバー及び柱キャップが変形してしまいます。
当て木等をして行ってください。はみだした接着剤はきれいに取り除いてください。



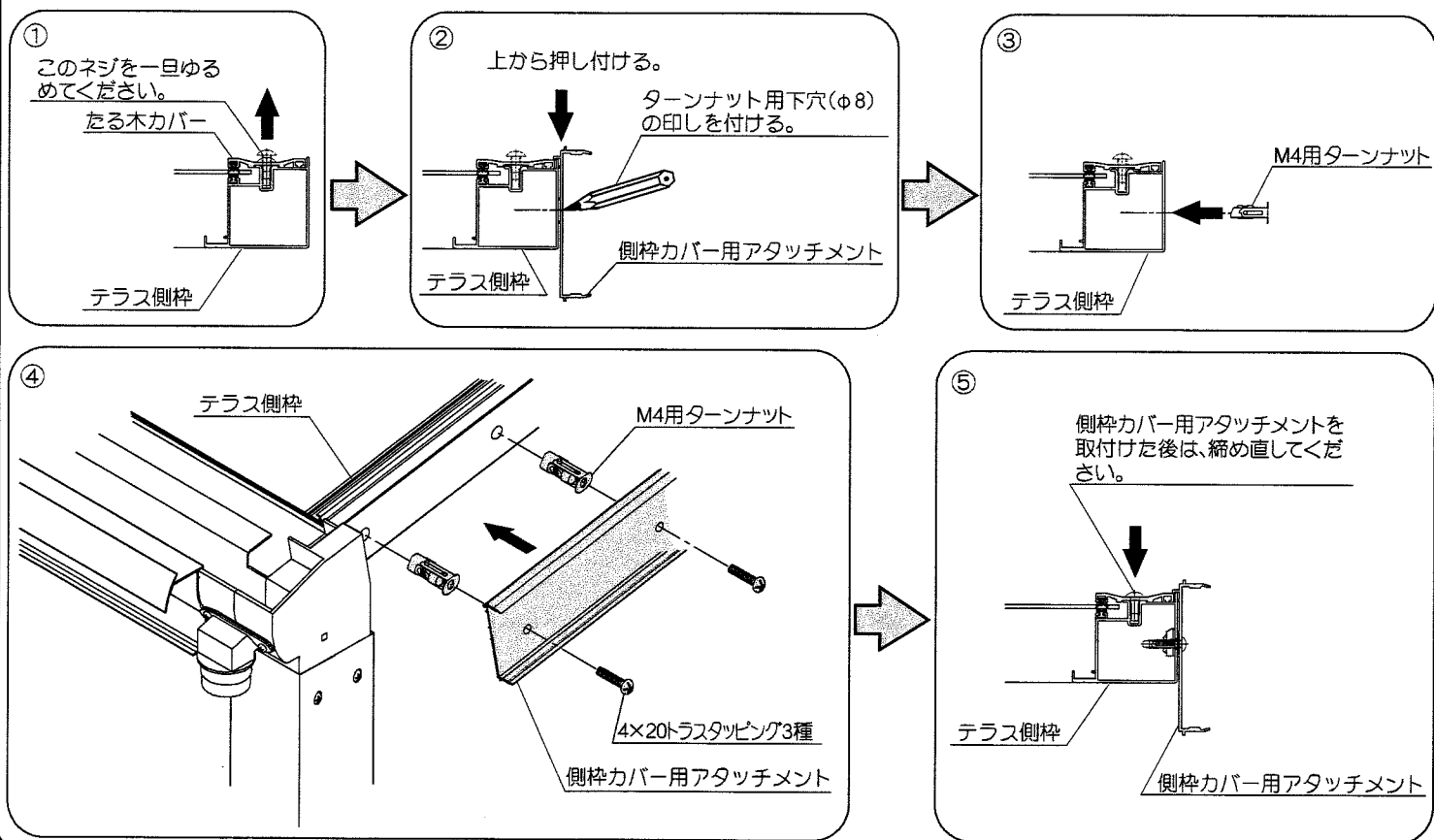
2. 前枠カバー用アタッチメントの取付け

○前枠カバー用アタッチメントを前枠にシール付きドリルビスM4×16にて取付けます。
 (前枠カバー用アタッチメントは、前枠よりも72mm短いので両サイド36mmづつ振り分けて取付けてください。)



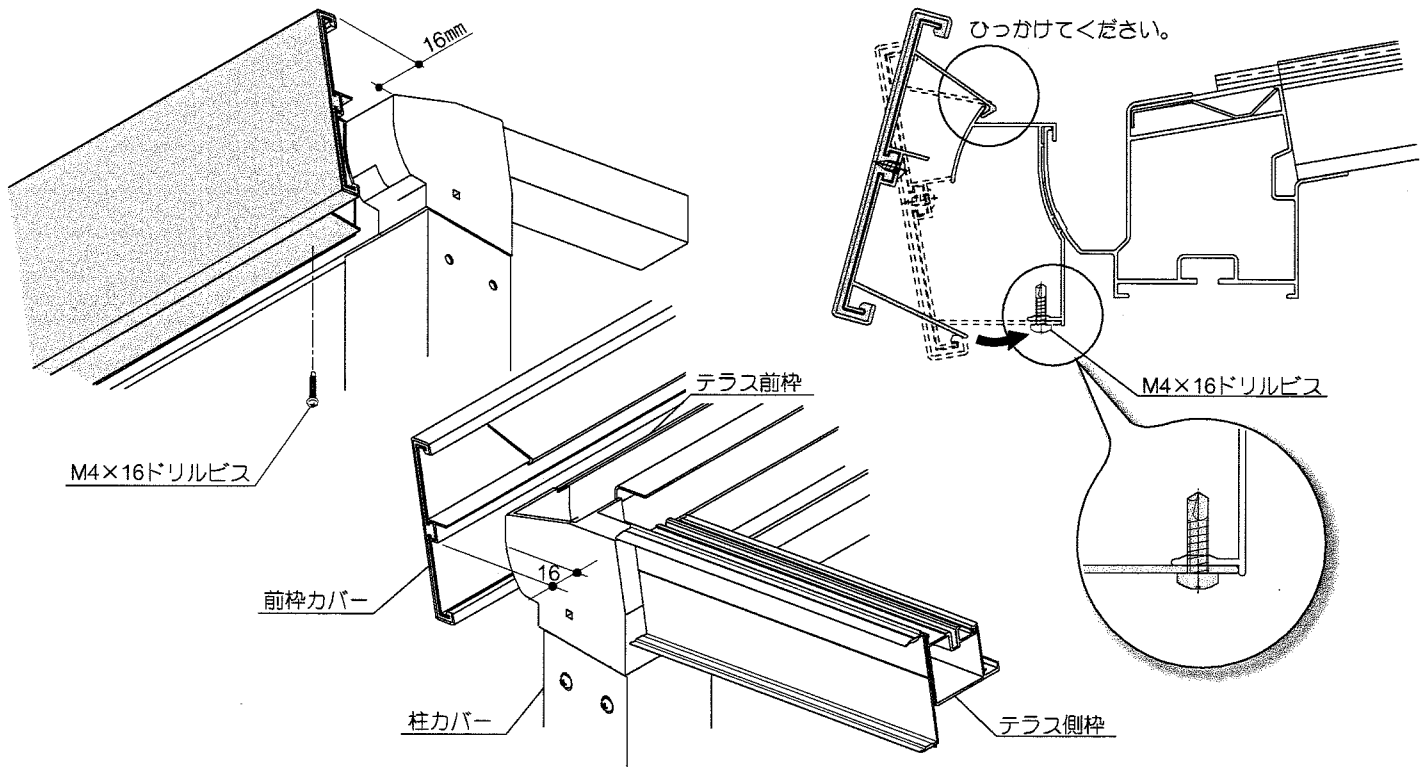
3. 側枠カバー用アタッチメントの取付け

- ① たる木カバーを固定しているビスを、ゆるめてください。
- ② 側枠カバー用アタッチメントをテラス側枠に上から押し付けて、ターンナット用下穴(φ8)の印しを付けてから下穴を明けてください。(側枠カバー用アタッチメントは、上部を側枠にひっかけ、テラス前枠側によせて取付けて下さい。)
- ③ ターンナットを嵌め込んでください。
- ④ 側枠カバー用アタッチメントをM4×20トラススタッピングビスにて取付けます。
- ⑤ ①でゆるめたビスを締め直してください。



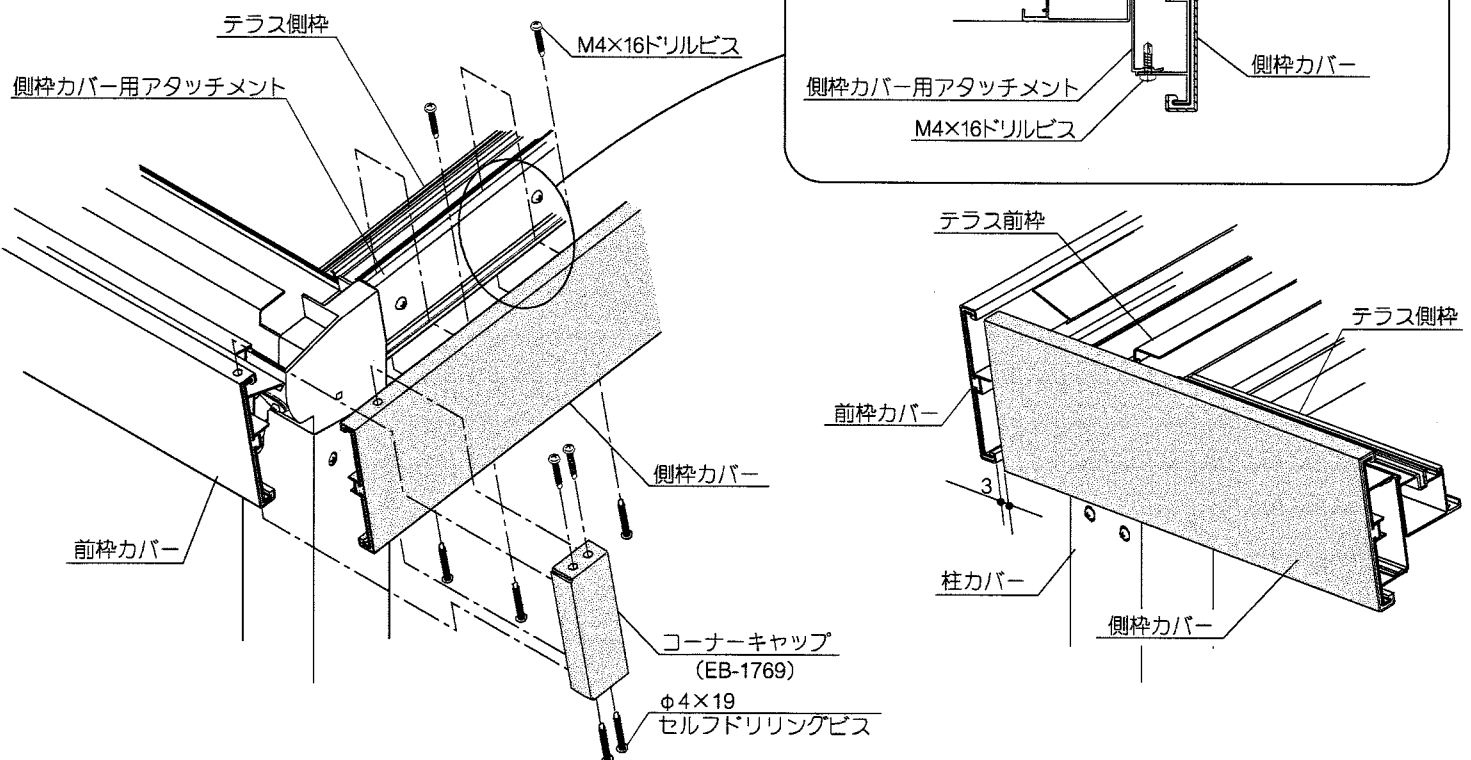
4. 前枠カバーの取付け

- 前枠カバーに付いているアルミブラケットをテラスの前枠カバー用アタッチメントにひっかけ、 $\phi 4 \times 16$ セルフドリリングビスで固定します。
- 前枠カバーはテラス前枠よりも32mm長くなっています。両サイド16mmずつふりわけて取付けしてください。



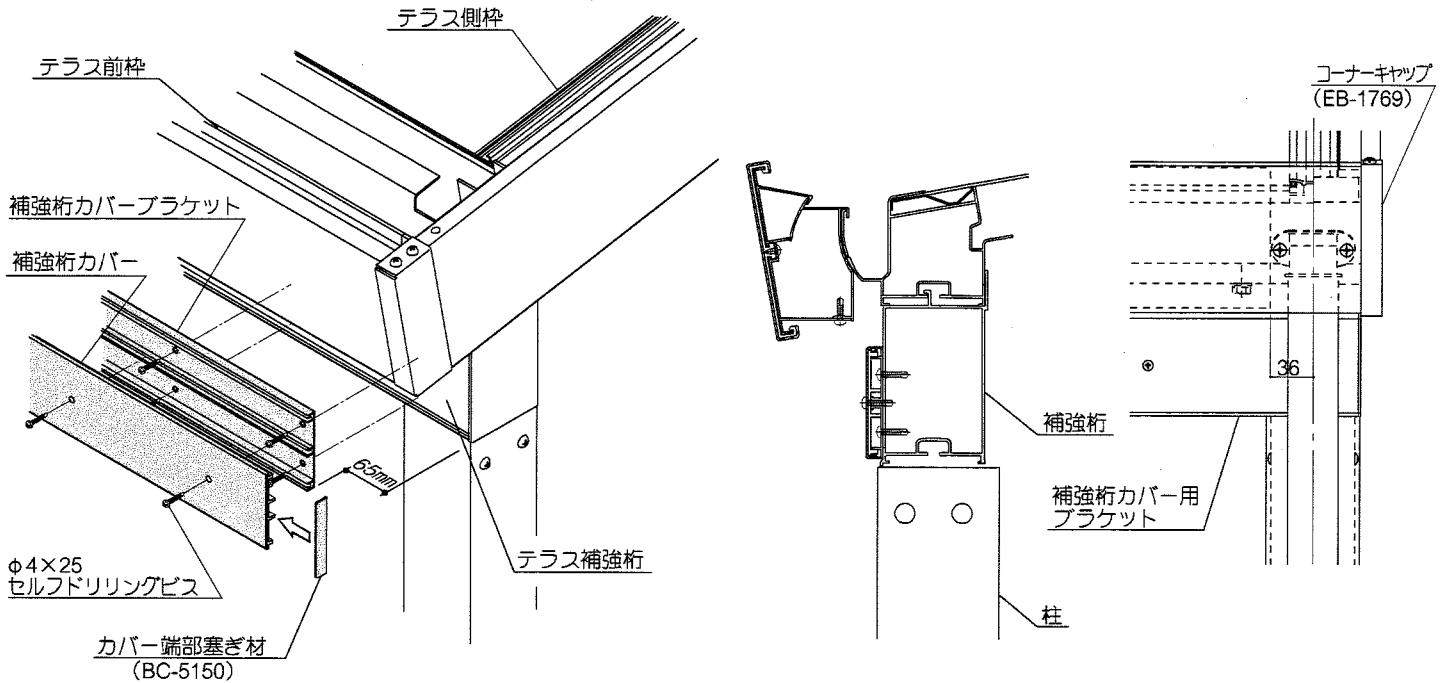
5. 側枠カバーの取付け

- 側枠カバー用アタッチメントに側枠カバーを M4×16 ドリルビスにて取付けてください。(側枠カバーには左右があります。)
- 側枠カバーと前枠カバーの隙間は3mmとしてください。
- コーナーキャップを前枠カバーのコーナー部に $\phi 4 \times 19$ セルフドリリングビスにて取付けてください。



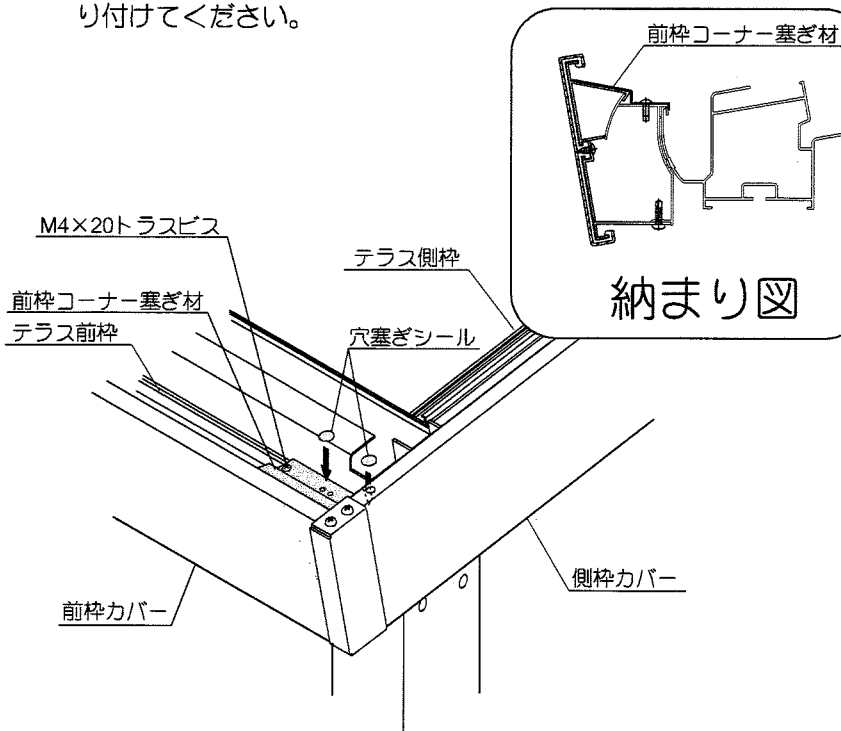
6. 出幅9尺用補強桁カバーの取付け

- 補強桁カバー用ブラケットを補強桁の下端にそってφ4×25セルフドリリングビスにて取付けてください。
- 補強桁カバー用ブラケットは補強桁より130mmみじかくなっています。両サイド65mmづつふりわけて取付けてください。
- 補強桁カバーは、補強桁と同じ長さになっています。
カバー・端部塞ぎ材を補強桁カバーの両側に取付け、補強桁カバーをφ4×25セルフドリリングビスにて、補強桁に固定してください。



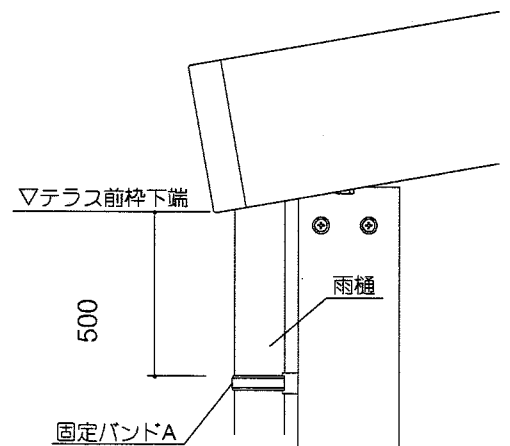
7. 前枠両端部塞ぎ材の取付け・塞ぎ板へのシール貼り

- 前枠両端コーナー部に前枠コーナー塞ぎ材をM4×20トラスビスにて取付けてください。
- ビスは1本だけで固定します。他のビス穴は、穴塞ぎシールを貼り付けてください。



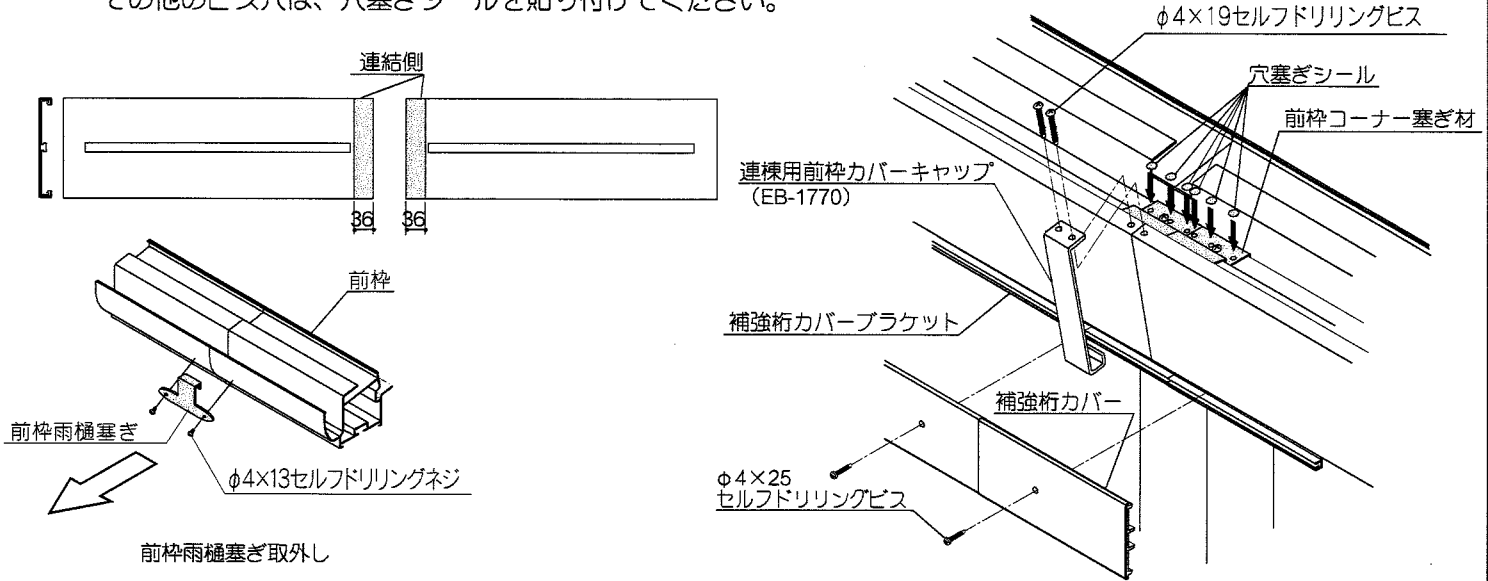
8. 雨樋の取付け

- あらかじめはおいた雨樋をテラスの組立施工マニュアルをご覧の上、取付けてください。
縦樋を固定する固定バンドAは、テラス前枠の下端より500mmはなれた場所に取付けてください。



9. 前枠カバーと補強桁カバーの連結(テラス連棟)

- あらかじめテラスの前枠連結部にある前枠雨樋塞ぎを取外してください。(補強桁のある場合は、補強桁連結キャップも取外してください。)
- 前枠カバーは、連結側を36mm切断してください。
- 前枠カバーをテラス前枠に取付け、(本施工マニュアル2参照)カバーキャップをφ4×19セルフドリリングビスにて取付けてください。
- 補強桁カバー用ブラケット、補強桁カバーをそれぞれφ4×25セルフドリリングビスにて取付けてください。
- 前枠コーナー塞ぎ材を2個、前枠カバーの内側に取付けてください。塞ぎ材は、それぞれビス1本にて固定します。その他のビス穴は、穴塞ぎシールを貼り付けてください。



10. 施工工事店様、販売店様へのお願い

—お願い—

この説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主様へお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店		TEL ()	-
販売店		TEL ()	-
商品名			

この商品についてのお問い合わせ、ご相談は下記の窓口でも承っておりますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

●ネットワーク

新日軽株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1

(ゲートシティ大崎ウエストタワー)

お客様商品相談室

フリーダイヤル 0120-37-2534

東日本エクステリア支店 03-5759-2211

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1

(ゲートシティ大崎ウエストタワー23F)

・市場開発課 03-5759-2210

・景観課 03-5759-2212

西日本エクステリア支店 06-6479-3232

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18

(住友中之島ビル1F)

・市場開発課 06-6479-3233

・景観課 06-6479-3233

九州エクステリア支店 092-482-8581

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11

(山善福岡ビル5F)

札幌支店 011-219-7511

東北住宅建材支店 022-297-3364

北越住宅建材支店 076-237-0122

長野支店 026-224-2878

北関東支店 027-328-2881

埼玉支店 048-684-8680

東関東支店 043-247-1251

東京支店 03-5759-2216

横浜支店 045-641-3381

静岡支店 054-289-6117

名古屋支店 052-731-1911

大阪支店 06-6390-1331

岡山支店 086-243-1243

中国支店 082-544-4134

四国支店 087-833-7611

九州支店 092-712-8191

特需営業総括部 03-5769-8033

●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。